

講演

海運における市場原則に従ったCO₂排出削減措置の概要と見通し (第99回月例会)

2015年に気候変動抑制のための温室効果ガス削減を各国に求めるパリ協定が発効し、我国においては、2020年に内閣総理大臣から「2050年カーボンニュートラル」宣言が発表されております。

海運界においても、邦船3社と日本船主協会が2050年海運脱炭素化に踏み切っており、目標実現に向けて海運界の競争条件均質化のための提案がなされ、国際海運においても様々な団体が提案し、IMOにおいても議論がなされているところです。

今回は、神戸大学大学院から長谷部客員教授を講師に迎え、国や国際団体或いは海運界から提案されている経済的な手法や規制的な手法、更には混沌とした国政情勢を踏まえた今後の見通しについて講演していただきます。

■講師

神戸大学大学院海事科学研究科国際海事研究センター
客員教授 長谷部 正道 氏

■開催日時

令和5年4月20日(木) 15:00~16:00頃まで

■開催場

神戸市中央区東町115番地 神戸市中央区文化センター 10階
1001-1002会議室(定員 40名)



■主催

公益社団法人 神戸海難防止研究会(担当: 渡川又は藤原)
電話 078(332)2035

入場無料(定員40名)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大防止対策といたしましてマスクの御着用をお願いいたします。